

令和3年度文京区アカデミー推進協議会
第5回分科会(観光、国内・国際交流)概要記録

日 時	令和3年8月30日(月) 18:00～19:40
会 場	オンライン開催(Zoom)
出 席 委 員	座長 山田 徹雄 小能 大介、関 誠、内藤 雅義、佃 吉一、小島 えりか、堀 正孝
欠 席 委 員	彼島 巽、杉田 明治、清水 恵一
事 務 局	高橋征博アカデミー推進部長 細矢剛史アカデミー推進部アカデミー推進課長 堀越厚志アカデミー推進部観光・都市交流担当課長
資 料	資料1 観光分野の施策体系等 参考資料1 令和3年度 事業調査結果A 観光分野 参考資料2 令和3年度 事業調査結果B 観光分野
(議事) 1 議題 ◎委員意見 ◆事務局説明	<p>1. 観光分野の施策体系等について 資料1に基づき、観光分野の施策体系等について説明。</p> <p><u>(1)観光の定義について</u> ◎(特に意見はなし)</p> <p><u>(2)現状と課題について</u> ◎「③区内観光の情報の収集・活用による来訪促進」について、区として観光情報をどのように収集しているか。リアルとヴァーチャルという視点に加えて、静と動という視点も加えた方が良い。一般の方が区内を歩いて得た情報をフェイスブックで発信しているので、そうしたリアルな情報を区が吸収して、発信していくことも必要ではないか。</p> <p>◎観光協会では文京グルメ100選をやっており、冊子を作って、お店には盾を渡し、お店の認知度向上や集客促進を図っている。現在は、委員会を設けて推薦から100選しているが、これからはSNS等での情報も収集していきたい。</p> <p>◆区では実態調査により、区民の観光に対する要望や意見をいただいている。区からの紙媒体やSNSなどによる情報に加え、来訪者からの情報発信により、有益な観光情報が区内外に拡散し、好循環を生み出すことを目指している。</p> <p>◎観光はいかに周知をして気づきを与え、文京の地に足を運んでもらうのが重要。SNSを活用した情報発信は良いとして、これまでのメディアへの周知と今後についてききたい。</p> <p>◆プレスリリースに加え、フィルムコミッションへの協力等、区の観光施策が注目されるよう取り組んでいく。新しい事業を行う際には、広報課を通じて、プレスリリースを行っている。それにより、新聞社やテレビ局の方から問い合わせをいただいている。それ以外について、文京区の観光資源の情報発信は、定期的ではないが、フィルムコミッション等を通じて行っている。コロナ前には、区庁舎の25階の展望ラウ</p>

ンジが取り上げられたこともある。コロナの収束が見えてきた際には、再び、フィルムコミッション等を再開したいと考えている。

◎アニメやドラマの舞台になった場所を巡る観光も、主に若い世代や外国人の間で話題になっている。文京区が舞台になっているアニメ作品等は97か所あるようだ。ストーリー性を持たせた観光に加えて、アニメやドラマの聖地巡礼というアイデアも、新たな観光資源として良いのではないかな。

◎新しい文化、若者とつながった文化をアピールできれば、新しい観光になる。また、区民や来訪者、外国人が思う観光(場所、知名度)と、区が思う観光や区が行う施策が一致しているか。若者と高齢者との違いはないかなど、そのあたりの基礎データがもう少し入ると良い。観光資源の中で、どこが文京区の観光の魅力で、どこを掘り起こすのか。どう創り上げていくのか。例えば、森鷗外にしても、日本人と外国人では受け止め方が異なるのではないかな。

◆これまでもいくつかのアニメなどを活用した事業を実施してきた。アニメや体験型の観光も取り入れることにより、新たな層が本区を訪れるきっかけとなると良い。老幼男女、観光客、外国人を問わず、様々な視点を反映させ、魅力の創出を図っていききたい。

◎情報発信について、最近、ドローンが非常に流行っている。ドローンを使って、最寄駅から目的地までの距離や、上から見た細川庭園等を発信していくと、これまでとは異なる魅力が出てくるのではないかな。そのあたりについて、区はどう考えているのか。

◎情報発信の仕方として、固定カメラもある。コロナになり、花のまつりに足を運ぶことが難しくなっているが、それゆえに花の開花状況等をライブカメラでリアルタイムに発信することで、コロナの収束後にリアルで見てもらうための働きかけになることも考えられる。また、ライブカメラの情報をSNSでシェアしてもらうことで、行ってみたいと思うきっかけをより多くの人に与えられるので、こうした動画の活用も必要なのではないかな。区には、花のコンテンツに強みがあるので、その強みとライブカメラを合わせた提案をしたい。

◎現在、区の情報発信の主流は静が多い。今後は、もう少し動を重視したいので、ドローンやライブカメラは非常に良い。個人情報保護に配慮しながら、花や25階からの景色をライブ発信するのも良い。

◆ライブカメラやドローンなどによる情報発信は、設置場所や関連法規等を鑑み研究していきたい。

(3) 施策体系の考え方について・(4) 施策体系について

◎(3)について、マイクロツーリズムを実現するためには、地域住民の観光への理解と協力が必要。1行目の前に追加してはどうか。また、その実現を進める中で、新たな発見や経験があるので、それを4行目の前に追加してはどうか。(4)について、発信と同時に収集が必要なので、収集を加えてはどうか。

◆加える方向で検討したい。

◎Bーぐるの第三路線ができ、区内のBーぐる網は完成する。Bーぐるを活用した観光

周遊コースを企画等はあるのか。1日コースや半日コース、何々地区コース、寺院めぐり等も発信できればと思う。

◎観光地の活用と周遊は非常に大事。観光地を効率的に回りたいというニーズがある。コロナ禍でのマイクロツーリズムの推進という観点からも、コンパクトに観光地を回っていただく点で、Bーぐるは有効である。また、台東区(上野公園等)や豊島区(染井霊園等)等と一緒に区内の花を見てもらうような連携も面白いのではないか。

◆区や観光協会等が作成するガイドマップに観光ルートを紹介している。今後、Bーぐるの利用やスポーツなどの観点もさせていきたい。また、近隣区との連携により、一体的な観光振興を進めていけるよう、関係性を深めていく。

◎区内にも様々な観光地があるが、もう少しピンポイントなアピールが必要なのではないか。小石川後樂園なら、庭の中で何がトップなのかとか。そうした強調により、来訪者の好奇心を誘発しつつ、Bーぐるに乗ってもらい、他の人に自慢やSNS等で発信したくなるような、そうしたアピールの仕方を考えても良いのではないか。

◆どこを強調するのかは、今後、研究していきたい。また、観光地や施設の歴史や背景等を、来訪者にうまく伝わるとより関心・興味を持っていただけるので、そうした点も今後、研究していきたい。

(5) 基本方針と施策の方向性について

【基本方針①について】

◎イについて、公的な施設や観光資源を相互に結び付けるイメージなのか、それとも飲食店等の私的な施設も合わせるのか。

◎アのSNSによる写真投稿キャンペーンについて、盛り上がりを作り、新たな観光ニーズの発掘という点から非常に面白いと思う。文京区の一般的な観光名所だけでなく、区内にある面白いものや少し変なもの、気になるもの、気になるスポットの写真も加え、SNSでシェアされると、非常に強い発信力になる。それを通じて、文京区に足を運んでみたいと思う方も増えると思う。

◎湯島は昼の顔と夜の顔を持っている。湯島天満宮で梅まつりの期間中、その下にある繁華街では、様々なイベントを開催している。そのため、夜でも人手はあるが、肝心の梅が暗くて見ることができない。湯島天満宮では、夜観梅と称してPRをしているものの、足を運びずらかったり、来ても梅をみることができない。できれば、梅園をライトアップしたり、階段に灯籠を置く等の来訪者の受け入れ準備ができると良い。昼間観光する人たちとは層が異なるので、観光する客層が広がってくるのではないか。これは、梅まつりに限らず、他のまつりでも何らかのアイデアを持っていると思う。そうしたところにも、少し予算をつけていただくと良いのではないか。

◆イについて、現段階では、公的な施設や観光資源を結ぶことを想定している。将来的には、商業施設情報等も紹介できると良いと思う。写真コンクールは、今回59回目であり、昨年にはSNSでの写真投稿も実施した。内容がマンネリ化せず、時代のニーズに合うように変化する必要がある。コロナ発生前には、インバウンド客を迎えるにあたり、ライトアップを幾つかの地点で実施することを検討していた。こちらについても、コロナが落ち着き、ある程度、インバウンドの回復が見えたところで再検討

したいと考えている。

【基本方針②について】

◎Googleマイビジネス整備事業が示されている点には感心した。現在、観光を訪れる際、どこに行くかを決めるきっかけとして、Googleマイビジネスのコンテンツが非常に重要視されている。Googleマイビジネスで検索上位に出てくるためには、様々な投稿や口コミへの対処等、Googleマイビジネスの細かい活用法を知る必要がある。この事業の中に、区内の観光施設の担当者に対して、Googleマイビジネスのセミナーを開催して、しっかり対応できる環境づくりを含めると良い。観光地運営の補助という面で、非常に役立つと思う。

◎ICTを活用した観光として、観光地に立て看板等で示されている歴史背景等を、スマートフォンでQRコードを読み取り、多言語で説明が見れると良いのではないか。また、ARを活用して、例えば、観光資源ができた当手を体験できる等、新たな技術を活用していくと、さらに観光の魅力が深まるのではないか。

◆Googleマイビジネス整備事業は今年度から実施している。今後は、各施設自らの手で情報発信していけるようようセミナーなどの実施も検討していきたい。また、QRコードの活用は、一部施設の施設情報をガイドマップに掲載している。

【基本方針③について】

◎他分野との融合について、普段はなかなか行くことができない場所に、1年に1度開放していただく協力等はないか。区民、観光サービスとして、従来の観光資源ではないところも、いつの間にか新しい観光資源になってしまうような、取組ができないか。

◎イについては、文京区には非常にお世話になっている。津和野町も文京区に対してどのような交流ができるのかを常々考えている。津和野町では、2町でケーブルテレビを運営しており、加入率が90%を超えている。文京区が作成した森鷗外の番組やシビックセンターで行った岩見神楽を津和野町のケーブルテレビで放送し、交流という観点からもケーブルテレビを活用している。交流自治体が、お互いの情報をしっかり持ち、観光を進めることも視野に入れてやっていけると良い。

◎アに関連するが、スポーツとの連携で、自転車で回るツアーやウォーキング等のテーマ別に観光と結びつけ健康増進につながるような形を提案できると良いのではないか。

◆他分野との融合については、今後研究していきたい。交流自治体とは連携して様々な事業を実施しており、今後も双方向の交流を目指していく。健康増進の件について、観光ガイドにルートを記載し、そのルートを歩いた場合の消費カロリーを載せる予定にしている。今後もBーぐるや自転車を活用した健康増進と絡めた取組を検討していきたい。

◎もう少し、文京区でこれぞというものを提案してみると良いのではないか。

◆検討していきたい。

	<p>【基本方針④について】</p> <p>◎無料公衆無線LANの整備について、まだ手を付けていないということが良いか。文京フリーWi-Fiとは違うものか。無料公衆無線LANの整備は非常に良いことなので、是非、進めて欲しい。</p> <p>◎無料公衆無線LANの整備は必要。情報発信にあたり、皆さん、情報伝達の際の通信料を気にされる。また、動画を発信すると通信料が高くなることを踏まえると、無料公衆無線LANをより細かく引いて、利用者が情報発信しやすい環境を作ることが重要である。</p> <p>◎イについて、現在の先の見えない状況でボランティアを増やす方向にすると、あまり活躍の場がないのではないか。ガイドの拡充よりは、どうすれば新しい観光に合ったガイドが生まれるのかに重点を置いた方が良いのではないか。</p> <p>◎観光協会振興助成について、地域観光へ様々な提言をさせていただきたいので、合わせて補助もお願いしたい。</p> <p>◆無料公衆無線LANの整備は、文京フリーWi-Fiの件である。幾つかは実施しているが、まだ区全体をカバーするほどではない。いただいた要望は、担当部署に伝える。ガイドの活動はコロナ禍、活躍の場が減っており、勉強会等を通じたレベルアップに取り組んでいる。また、インバウンドの回復に向けて、在住外国人や留学生も含めたボランティアガイドの育成も検討していきたい。観光協会の助成については、今、観光協会主催で文京みやげという事業を実施している。ゆくゆくは、おみやげを販売し、売れる商品にしていくことを目指している。そうした事業を通じて、観光協会として自主財源を確保できる体制を作ること必要だと考えている。その方策も含めて、今後検討したい。</p>
3 閉会	